

なんだ・かんだ

◆ 自転車に関する法律の改正 ◆

年々自転車に関する交通事故が増加しており、昨年度は交通事故のうち、自転車が関連する事故が全体の1/4にもなったそうです。こうした背景もあって、来月11月から自転車運転における携帯電話を使っての「ながら運転」等への罰則がこれまで以上に厳しくなります。

また、自転車でも「酒酔い運転」は今すでに罰則の対象となっていますが、酒酔い運転よりも体内のアルコールの残存量が少ない「酒気帯び運転」はこれまで取り締まりの対象外だったのが、「酒気帯び運転」も罰則の対象となります。同時に車同様、同乗者やお酒を提供した者、そして飲酒と知りながら自転車を提供した者へも罰則が整備されるということです。

さらに今後大きく変わる点として、「青切符」が導入されます。青切符は一定の交通違反に対して反則金を納付させる仕組みですが、これまで自転車は対象外だったが、車やオートバイと同じ扱いになり、約2年後の2026年までに導入される見通しだそうです。

青切符が交付されるのは16歳以上。対象となる違反項目は100を超えるが、特に信号無視、一時停止、右側通行、ながら運転の取り締まりに重点が置かれるようです。

違反しないようにしなければならないことはもちろんですが、注意していく中で事故を起こしてしまうこともあります。自転車が加害者になるケースで裁判の結果、1億円近い損害賠償を命じられる場合が多くあるそうです。

いくつかの自治体では条例で自転車損害賠償責任保険への加入を義務づける動きもあり、32の都府県で加入が義務化され、10の道県で努力義務化の条例が出ています。

ただ、自転車事故に対応する保険は、一般には自転車保険になりますが、自転車保険にこだわることではなく「個人賠償責任保険」で対応できるということです。個人賠償保険は、火災保険や自動車保険に特約として付帯されることも多いので、現在自分の掛けているこれらの保険を確認して頂ければと思います。

保険の加入においては、前述の様に自転車事故の賠償に関する過去の判例からみても、加入時の補償額は1億円を目安にした方が良いということです。

ちなみに自転車保険の保険料は家族全員を補償の対象とするもので年間4,000~7,000円程度になるそうですが、個人賠償責任保険の特約保険料は年間2,000円ほどが中心になっているそうなので、条例で自転車保険加入が義務化されている場合、個人賠償責任保険で代替できるかの確認も含めて、保険屋さんと相談し比較検討をした方が良いと思います。

当社では、車だけではなく、バイクや自転車を使って通勤をする社員が何人かいますが、毎年年度当初に加入保険の確認の為保険証書のコピーを提出してもらっています

一度事故が起これば、事故を起こした本人も大変ですが会社も影響は少なくありません

転ばぬ先の杖、自転車に乗る方は、道交法を守ると共に保険加入など自己防衛に努めて下さい。



■ 健康経営 ■

当社では10月から、健康経営の一環として、「サントリー・プラス」というアプリを使い従業員の健康増進のサポートを始めました。

社内にサントリーの自動販売機を設置し、従業員全員が専用アプリをスマートにダウンロードして、自分の現在の健康状態を登録し、毎日健康の為に行う「タスク」を設定します。このタスクは、1日の歩数設定、朝起きて水を1杯飲む、階段を使う等々無理せずに簡単に実行できる項目ばかりです。このタスクを達成するとポイントが加算され飲料の購入に使えます。アプリを使って楽しく健康増進できそうです。

お彼岸を含む3連休が明け、朝涼しくなりましたが、10月の末と言つては居間は気温が上がり25°Cを上回る日が未だあります。今月初めにE.U.の気象情報機関が2024年の世界平均気温はこれまで最も暑かつた昨年の14.98°Cを上回り、過去最高になる見通しだと発表しました。地球温暖化対策は急務です。

ここで大きな問題があります。アメリカの大統領候補のトランプ氏は大統領時代に温暖化対策をとらなければ米経済が大混乱に陥るという報告書に対して否定的な意見を述べ、今も雇用を生み出すため、アメリカの石油・天然ガス産業を後押しすると主張しています。トランプ氏が大統領にもなつたら…。考えると将来が不安になります。

一方当社では、将来を見込んで今年は20代の社員を2名採用出来ました。共に営業部に配属され、日々早く戦力となる様にと懸命に奮闘しています。頼もしい限りです。また、将来に光が見えます。

今年で100年を迎えた当社ですが、今最も大きな課題が人の問題です。継続して採用に力を入れて行きたいと思っています。

代表取締役

服部 厳一郎

新入社員紹介

● 市川 武伸 ●

営業部 1課

今年度10月1日より営業部営業1課に配属になりました、市川と申します。

生まれは三島市で、出身高校は飛龍高校です。その後静岡産業大学情報学部を卒業しました。

高校ではバスケットボール部に所属しており、全国大会に出場もしています。大学でもバスケットボール部に所属していました。

部活動では、仲間との信頼や努力、諦めない気持ちなどを学ぶことができました。

入社してから現在まで約1ヶ月間先輩方と同行しながら勉強しております。前職とは全く違う業界なので、まだまだ専門用語が理解できませんが、若さとバスケットで培った根性で頑張ります。

先輩方の優しさに甘えることなく日々努力して一日でも早く会社の役に立てる様頑張ります。

お客様におかれましてはしばらくの間ご迷惑をお掛けすることが多々あると思いますが、一生懸命頑張りますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひいたします。



本レターのご提供に付きまして、ご不要・ご迷惑という方に付きましては、その旨ご一報頂きたいと思います。次回からの発送を中止させて頂きます。

株式会社チキリ

静岡県駿東郡清水町御団地73

Tel 055-971-9610 Fax 055-973-1534

E-mail gen@chikiri.com URL http://www.chikiri.com/

将来へ向けて